

委員会通信

山村都市交流拠点施設整備について

9月11日に開かれた総務委員会において、山村都市交流拠点施設整備について報告がありました。

山村都市交流施設は、平成20年12月の「設楽ダム建設同意に係る確約事項」に基づき、豊川下流域5市（豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市）がダムサイト土捨場を活用し、子どもたちの自然体験学習をはじめ、ダム湖を訪れる多くの人々が年齢を問わず幅広い分野で利用でき、交流を通して住民の福利に貢献できることを目的に整備することを約束した施設です。

国の設楽ダム建設に伴う付替道路用地の買収と歩道を合わせ、下流域5市は山村交流拠点施設のための用地買収を29年度から開始します。下流域5市を代表して、豊橋市が土地の先行取

得を行い、用地取得に係る経費は約1億7千万円です。29、30年度に用地買収。31年度から34年度までに残土受け入れ及び整地。35、36年度に施設の基本設計及び実施設計。37、38年度に建設工事を行って施設が完成する予定です。



設楽町田峯地区での水源地交流

東三河広域連合介護保険事業計画について

9月13日に開かれた文教委員会において、東三河広域連合介護保険事業計画について中間報告がありました。30年4月から東三河8市町村の介護保険者が東三

河広域連合に統合されます。本計画は介護保険法に基づき、東三河広域連合が策定中のものです。

計画の基本理念に「いつまでも健やかで安心して暮らせる東三河の実現」を掲げ、3つの基本目標と8つの基本施策が示されています。この基本施策に基づき、様々な事業が実施される予定です。

また、これまで各市町村が取り組んできた地域包括ケアシステムを継承しつつ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、3つの視点を基本に東三河版地域包括ケアシステムの構築を目指します。

なお、介護保険料は次期介護報酬の改定内容が明確になる30年1月をめどに最終報告される予定です。



委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、7月に議会運営委員会が、10月に総務委員会が行政視察を行いました。視察地及び視察項目をお知らせします。

●議会運営委員会 7月13日～14日

飯能市 / タブレット端末の導入及び活用
 予算決算の審査方法、委員会運営
 海老名市 / 予算決算の審査方法、委員会運営



●総務委員会 10月3日～5日

塩竈市 / 震災後の防災・減災の取り組み
 上尾市 / 公共施設マネジメント
 北本市 / セーフコミュニティ
 町田市 / 包括外部監査制度

